

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
発達障害作業療法治療学演習		必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
渡辺 俊太郎	C318	shuntaro.watanabe		金曜日 16 : 20 ~ 17 : 50	
授業の目的・概要	近年、発達障害という言葉聞く事が多くなっている。臨床においても発達過程の視点で対象児に作業療法を提供する必要性が喫緊の課題となっている。本科目では、発達領域における作業療法の対象となる子どもの特性を理解した上で、評価から治療、支援の流れを習得する。対象児に対して必要な観察と検査測定・支援について演習を通して学習する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 (                      )				
学習上の助言	発達領域の対象児に対する評価から治療、援助に対して事例を通して教授、議論していく。事前に人間発達学、発達作業療法評価学演習で学んだ人間の発達、対象疾患の特徴を復習して授業に臨むこと。				
教科書	イラストでわかる発達障害の作業療法 監修：上杉雅之 / 医歯薬出版株式会社 / 2017 標準作業療法学 作業療法評価学 第4版 作業療法評価学 監修：矢谷令子 / 医学書院 / 2024 「教科書2冊」 必要に応じてプリント配布				
参考書	作業療法学 第3版 ゴールドマスターテキスト 発達障害作業療法学 監修：矢谷令子 / 医学書院				
外部教材	ヒトの心はどのように生まれ、進化してきたか? 東京大学 長谷川寿一 東大 TV を授業開始前に視聴し本科目に臨むこと。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	脳性麻痺児・神経発達障害の障害特性について理解し、説明できる			HSU(2)、RH(1)、(2)	
②	神経発達障害(ASD,ADHD,SLD)の特性を理解し説明できる			HSU(2)、RH(1)、(2)、(3)	
③	神経発達障害(ASD,ADHD,SLD)の評価と支援について理解し説明できる			HSU(2)、RH(1)、(2)、(3)	
④	事例(脳性麻痺・神経発達障害)を通して、支援方法について私見を述べる事ができる			HSU(2)、RH(1)、(2)、(4)、(5)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	発達障害児の疾患の特徴とその背景について学ぶ。	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。事後プリントを復習する。	1	
2	学校作業療法について学ぶ。	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。事後プリントを復習する。	1	
3	姿勢・運動・感覚機能の発達とその背景について学ぶ。	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。事後プリントを復習する。	1	
4	認知・思考の発達とその背景について学ぶ。	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。事後プリントを復習する。	1	
5	発達過程作業療法の評価・治療・援助のための基礎知識を学ぶ。	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。事後プリントを復習する。	1	
6	発達領域で使用する検査について学ぶ①	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。事後プリントを復習する。	1	
7	発達領域で使用する検査について学ぶ②	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。事後プリントを復習する。	1	
8	事例検討：オリエンテーション 発達障害児の評価・治療・援助について学ぶ。	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。事後プリントを復習する。	1	
9	事例検討 発達障害児の評価・治療・援助について学ぶ。	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。事後プリントを復習する。	1	
10	脳性まひ児の疾患の特徴とその背景について学ぶ。	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。事後プリントを復習する。	1	
11	事例検討：オリエンテーション含む 脳性まひ児の評価・治療・援助を学ぶ。	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。事後プリントを復習する。	1	
12	デュシャンヌ型筋ジストロフィーについて学ぶ。	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。事後プリントを復習する。	1	
13	重症心身障害児について学ぶ。	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。事後プリントを復習する。	1	
14	小児リハの支援制度、障害児の保護者への子育て支援について学ぶ。	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。事後プリントを復習する。	1	
15	対象児に応じた支援について学ぶ(まとめ)。	講義、演習	事前に教科書の該当箇所を読む。事後プリントを復習する。	1	

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療学科】

試			
---	--	--	--

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		60	0	0	0	40	
総合 力 指 標	知識・技術力	30	0	0	0	10	
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	
問題を発見・解決する力		10	0	0	0	10	

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①	✓	定期試験を実施して評価する。発達分野における代表的な疾患の特性把握、評価、解釈、支援について問う。得点を総合評価の60%に換算する。	回答用紙返却時に解説を実施する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	事例検討での意見交換や小テストを実施して、知識のみではなく、思考・推論・創造する力、取組みの姿勢・意欲、問題を発見・解釈する力を評価する。	事例検討に対するコメント、小テスト解説は授業内で実施する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			

備 考	
他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	作業療法士として15年以上の臨床経験
実践的授業の内容	大学構内での授業に際して、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方針を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めない。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスの変更の可能性がある。
そ の 他	